

平成21年度 第4回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）

1 開催日時 平成21年11月19日（木）午後2時～3時

2 開催場所 浦安市文化会館 中会議室

3 出席者

（委員）

舟田委員長、杉山副委員長、高橋委員、和田委員、井上委員、中尾委員、工藤真由美委員、宮本委員、工藤宜延委員

（事務局）

教育次長、生涯学習部長、生涯学習部次長、生涯学習課長、視聴覚ライブラリー館長、郷土博物館長、青少年センター主幹、市民スポーツ課長、市民スポーツ課ゆめ半島千葉国体推進室長、中央公民館長、堀江公民館長、富岡公民館長、美浜公民館長、当代島公民館長、日の出公民館長、中央図書館長、生涯学習課副主幹、同生涯学習係

4 議題

（1）前回会議内容の確認

（2）協議事項

1）社会教育関係団体の認定について（1件）

（3）報告事項

1）文化財審議会開催結果報告について

2）浦安スポーツフェア実施報告について

（4）その他

1）次回会議日程について

5 議事概要及び会議経過

（1）前回会議内容の確認

平成21年度第3回定例社会教育委員会議事録（議事要旨）の内容について、出席者に堀江公民館長を追加するよう訂正し、了承された。

（2）協議事項

1）社会教育関係団体の認定について（1件）

生涯学習課長より概要を説明し、「健康太極拳サークル“すばる”」の認定を承認した。

委員からの質問及び意見は、次のとおりである。

（質問）日の出公民館での活動状況はどうか。

（回答）定期利用団体ではなく、一般利用団体として活動している。

（質問）文化祭には出演していないのか。

（回答）今年度は出演していない。

（意見）認定を受けた団体には、文化祭への出演など、地域に貢献するような活動をしていただき、自分が培ったものを人に分け与えるような団体が育っていくとよい。

（回答）今後は、浦安総合公園などでの親睦を兼ねた野外稽古や研修会を実施し、ピラを配布するなどして会員の輪を広げていこうという積極的な企画も検討しているという話は伺っている。

（質問）太極拳の団体については、既に10団体ほど認定されているようだ

が、太極拳の団体の横のつながりはあるのか。

(回答) 市民スポーツ課で把握している中では、ないようである。

(意見) 指導者が所属している会は全国的な組織であり、活動の中身についてはしっかり構築されていると思う。

(質問) 会員数の推移について、20年度は11名とのことだが、20年度決算の入会金、会費からみると、去年の時点ではそれほど会員は多くないのではないか。

(回答) 20年度は2名程度の入会金と、当時は会費が1000円であり、長期の休会は500円に減額するとあるので、このような額になると思われる。

(3) 報告事項

1) 文化財審議会開催結果報告について

郷土博物館長より報告した。

2) 浦安スポーツフェア実施報告について

市民スポーツ課長より報告した。

委員からの質問及び意見は、次のとおりである。

(意見) 体験コーナーに太極拳もあるようである。こういうところにも認定団体に出ていただけるとよい。

(質問) 来場者数についてはどうか。

(回答) 去年と同程度である。

(質問) 市内・市外別の来場者数は把握しているか。

(回答) 把握はしていないが、市外の方も来場していると思われる。

(4) その他

1) 仮称高洲地区公民館複合施設について

生涯学習課長より報告した。

委員からの質問及び意見は、次のとおりである。

(質問) 地域からの苦情等への対策についてはどうか。

(回答) 建設工事についての協議書を交わしており、その中で十分話し合っていて、取り決め通りに実施している。現在のところ苦情等はない。

(質問) 公共施設として、災害時の対策についてはどうか。

(回答) 防災関連施設として、地下に防災備蓄倉庫を備えている。通常は学校を中心に防災拠点施設を整備しているが、公民館等についてもこうしたものを備えて対応できるようにしている。耐震性についても、建築基準法等を十分に検討している。

(質問) 埋立地なので、液状化現象なども考慮して、通常よりも強固に作っているのか。

(回答) 液状化については、建物そのものよりも周りから起こるもので、ある程度は避けられないが、通常の民間施設よりも耐震性は高めに設定している。

(回答) 今回確認審査が遅れたのも、審査に時間がかかったということで、耐震上かなり厳しくチェックをされている。特に浦安は埋立地なので、市としても基礎杭などについては非常に厳しく対応している。

(回答) 公民館で避難場所として指定されているのは当代島公民館だけであり、それ以外の公民館は災害弱者の福祉避難所としての位置づけである。高洲公民館は、救済物資の補給を中心とした福祉避難所として位置付けている。

(質問) 他の公民館には、カフェ軽食施設はないように思うが、こうした

施設ができたのも福祉避難所としての観点からか。

(回答)最初に当代島公民館に軽食施設を設置し、博物館等にも身体障害者の活動の場として設けている。高洲公民館についても、こうした施設を設けることとした。市内の公民館への設置は2館目となる。

(質問)高洲公民館の特徴は何か。

(回答)児童館や支部社協などとの複合施設であるので、連携を持って有機的に運営を進めていきたいと考えている。

(回答)コンセプトとしては、建物そのものが一部3階建ての低層となっている。屋上を庭園とし、緑を中心に周囲の小学校や公園などとの一体感を持たせている。環境の点では、太陽光発電を設け、施設の電力とすることと、3階の緑地部分とトイレで雨水を利用する。

(回答)児童館を設置するため、図書館と児童館の連携についても検討している。図書館をもう少し開放型にして、子どもたちのいい居場所になればというイメージで考えている。

(質問)屋上菜園については、何か特別な農法を考えているのか。

(回答)特別なことは考えていないが、地域の子どもたちなどに自分たちで耕して収穫を楽しんでもらうということで考えている。

(意見)初めての複合施設で画期的なことと思う。児童館と図書館との連携により、子どもたちが気軽に図書館に行けるという環境は非常に喜ばしいと思う。これまでと違う課題も出てくると思うが、他の公民館にもいい影響を与えてもらえるとうい。

(質問)非常に良い取り組みだと思うが、児童館の複合施設は全市的展開を図ることを想定しているのか。

(回答)各地区に児童館がほしいという要望はあるが、場所の問題などもある。今回は高洲に公民館を作るということで、初めて複合施設として整備した。

(意見)両親が働いている家庭が多く、子どもの放課後の居場所づくりは時代的な課題であると思う。

(質問)他の地区で活動している団体が利用を希望する場合は、どのように交通整理するのか。

(回答)定期利用団体は登録している公民館しか利用できないが、一般の団体であれば、高洲公民館も利用できる。

2)次回会議日程について

事務局より、次回の会議予定について報告した。

以 上